

# 外国籍の児童数の今後の推計は

**答** 児童の増加も考えられるが推計は難しい



貝田 義博 議員

**問** 市は、9月議会で6小学校を1校に統合する計画案を再検討することを表明した。その後、国会では外国人労働者の受入れを拡大する出入国管理法が成立した。今後、外国人労働者の

新たな受入れに伴う外国籍児童の増加も見込まれるが、児童数の推計に変わりはないのか。

**市長** 市内の小・中学校には、すでに一定数の外国籍児童・生徒が在籍している。

外国人労働者の数が増えれば児童数も変化するが、予測は極めて困難である。

**問** 新たな児童数の変化や再編問題を独自に検討しようという校区もある中で、これからどう対応していくのか。

**市長** 子どもの均等割額を軽減する制度の創設を求めて、市長会を通じて引き続き国へ要望していきたい。



外国籍児童・生徒の増加も見込まれる

地域の皆さんと一緒に検討していくというこれまでのスタンス。方向性は、今後とも一貫して変わらない。

## 多子世帯 国保税均等割額 の引下げは

**問** 国民健康保険税の中で人头割とも言うべき均等割額を、多子世帯を対象に軽減する考えは。

**市長** 子どもの均等割額を軽減する制度の創設を求めて、市長会を通じて引き続き国へ要望していきたい。

# 人口減少の南西部に 地域対策は



松竹 卓生 議員

**問** 市は、小学校再編で、南西部の小学校は児童数が少ないとして他の学校に統合していくことで検討している。地域の中心、

**市長** 南西部の下妻、古い



南西部、田んぼの向こうに集落がある（馬間田）

**答** ほったらかすということはない

心よりどこの小学校がなくなれば、さらに地域が衰退するのではないかと不安だ。南西部に暮らす住民の一人としてこの地域をあきらめていくわけではない。市として、この地域を見捨てていないということであれば、地域対策を打ち出していくことが必要ではないか。

## 市広報、 記事の充実を

**問** 市広報は行事のお知らせばかり。広報は決定事項のお知らせだけでなく、市政の現状や課題を知らせていくことが必要では。

**総務部長** 方針が決まっていることであれば載せられるが、難しい問題だ。